

# つくば市におけるコンビニエンスストアスタッフの空間的賃金格差

人文地理学分野

川添航

## I. はじめに

本研究においては、つくば市内のコンビニエンスストア（以下、コンビニ）における時間当たり賃金（以下、時給）の空間的差異を分析し、その要因について考察することを目的とする。

研究方法として、まず店舗毎の立地を整理し、地域ごとの特徴について分析を行う。次に求人エージェントサイトおよび現地調査から得た時間帯ごとの時給データを①地域(空間)的格差, ②時間帯格差, ③リテラー間格差の3つの観点から整理する。

## II. つくば市におけるコンビニ立地

市内のコンビニはTXつくば駅を中心とした中心街(つくばセンター)を中心に南部に多く分布している。

店舗ごとにみると、セブンイレブン、ファミリーマートは広範な範囲に分布している。特にセブンイレブンは近年開発が盛んなTX沿線の住宅地内にも進出していることが特筆される。一方で、ローソンは国道408号線(西大通り)や県道24, 55号線(東大通り)沿など、研究施設近隣に多く分布する傾向がある。

## III. コンビニ間の賃金格差

茨城県における最低賃金796円(2017年12月7日改正)を基準として、早朝賃金(6時から9時)、日中賃金(9時から17時)、夕方賃金(17時から22時)、夜間賃金(22

時以降)の4つの時間帯の時給の平均値との誤差を算出し類型化した(図1)。

## IV. 考察とまとめ

つくば市内のコンビニの賃金は、人口密度の高い地域においては賃金が安い傾向にある。また、店舗間の距離(立地密度)が時給に影響していると考えられる。

また、これらの傾向に対して、例外的な店舗においては労働力の性格(学生/高齢者)が大きく影響していることを読み取ることができる。

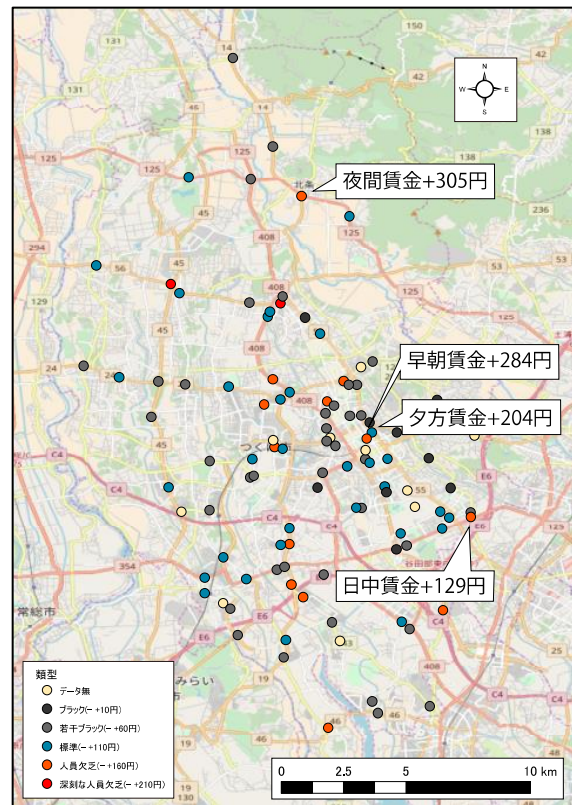


図1. 市内のコンビニ類型